

事業を急ぎ過ぎていないか

10月議会
反対討論
釘丸久子議員

今週の活動から



10月5日、荻野運動公園で開催された障がい者体育大会に参加。また、市民福祉常任委員会で、すぎな会を訪問。障害者施設の実態や悩みを聴きました。(栗山香代子議員)

イオンから出て歩道に降りる所にある段差。その境目が見にくく、転んで怪我をする人がいます。ここは市も参加した再開発ビル。安全対策を要求します。(釘丸久子議員)



職員削減だが仕事は減らない
昨年も職員削減に言及しました。この間100人以上も減りました。職員が減っても仕事は減りません。臨時やパートで対応するとしても責任の重みは掛かってきます。職員の健康、特にメンタル面での問題は依然深刻であり、職員数は減っているのに、療養休暇の取得数がほとんど変わらないことに表れています。さらに給与削減では職員のモチベーションが下がるのは当然です。

平成24年度は、なんとか持ちこたえた、というのが最初の印象です。
自主財源比率は昨年より0.6ポイントアップしましたが、経常収支比率は98.7%、財政力指数は単年度で1.063、3年平均で1.094と、かろうじて「1」を超えている状況です。

9月定例会が10月7日に終了しました。日本共産党議員団は平成24年度決算のうち4件(一般会計歳・後期高齢者医療事業・国民健康保険事業・介護保険事業)と厚木市一般会計補正予算(第6号)について反対しました。
釘丸久子議員の反対討論の概要です。

企業誘致の問題です。最大の課題は、誘致する土地があまりないことでしょう。そのために始まった南部産業拠点地区、関口・山際地区や、下古沢・上古沢土地画整理事業は、まだ緒に就いたばかりです。固定資産税等の減免をしても、雇用が増えないのでは、いったい企業誘致の目的が何であったのか改めて問い直したいものです。

目立つ拙速な事業

旧パルコの取得は一定評価されます。閉鎖したままであったらどうなるのか?市民はたいへん不安に思っていました。その意味では、市民の期待に応えたといえるでしょう。市民の旧パルコ(元気館)活用への関心の高さは、市民アンケートの回答にもよく表れています。しかし、中心市街地の公共施設の集約化をどう進めるのか、今までの施設との違いは、商業スペースはどうするのか、などなど、性急になりすぎているのではないのでしょうか。

物の保護について、環境団体をはじめとして市民の多くが大変心配しています。工事をするとき貴重な植物があったら計画路線を変更するという答弁がありました。果たしてできるのか大変不安です。また、膨大な予算についても、この時期にするべきことが他にあるのではないかと意見も聞かれます。

学校給食費の公会計化については、議会で審議する前に保護者に通知がなされていたことが問題になりました。事務を扱う現場の準備は充分だったのか、保護者の理解を得るためにどのようにしてきたのかもはっきりしていません。
新しい事業を始めるときには、十分時間をかけて、緻密な準備と関係者の理解が必要です。(2面に

(仮称)健康こどもの森事業についてもわかりです。年間10万人もの入園者を見込んでいるといえます。貴重な動植物

2013年9月議会 主な議案・決算の採決一覧表 ○賛成 ●反対	日本共産党②	改革あつぎ⑦	あつぎみらい⑦	公明党④	市クラブ②	民主クラブ②	新社会①	①市民の党	神奈川ネット①	子育て応援①	結果	採決
一般会計歳入歳出決算	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
介護保険事業特別会計歳入歳出決算	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
厚木市病院事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(6号)	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○